

令和7年度 学校評価(学校関係者評価)

学校名	加古川市立別府中学校
-----	------------

1 教育目標	一人一人を大切にし、共に生きる心と力を育てる 笑顔の花咲く学校をめざして
--------	--------------------------------------

2 重点取組項目	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、互いに高め合う生徒の育成 ・体の健やかさと、「命」を大切にする生徒の育成 ・教職員の資質向上 ・思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒の育成 ・特別支援教育の推進 ・家庭・地域との連携(ヨコの連携とタテの連携)
----------	--

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
(1)「確かな学力」の育成	・主体的に学びを深める授業の工夫 ・基礎基本の定着	B	ICTを有効活用しながら基礎基本の定着を図る。自己肯定感を高め、聴く力を育成する工夫として、協同的探究学習の手法を積極的に取り入れる。
(2)思いやりと主体性の育成	・互いに認め合い、支え合う学級づくり ・目的を明確にした学校行事の推進	A	行事・学級活動・生徒会活動の目的を「生徒の成長」目線で再検討・共通理解し、生徒の自主性・自発性を喚起して、達成感が味わえる活動とする。
(3)望ましい生活習慣の育成	・あいさつの奨励 ・安心・安全な学校づくり	A	引き続き、清々しい挨拶、TPOをわきまえた言葉遣い・服装を呼びかける。目的に応じた実効性のある避難訓練を実施する。
(4)教職員の資質向上	・人間性を高め、生徒理解を深めるための自己研鑽 ・人権・倫理意識の高揚とコンプライアンスの徹底	B	引き続き、教職員の人権意識を高める研修を充実させる。「チーム学校」が機能する体制を整え、教育活動のアップデートに主体的に取り組む。
(5)開かれた学校づくり	・家庭・地域への積極的な情報発信 ・学校園連携ユニットでの相互交流	B	引き続き、積極的な情報発信に努める。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
AIの扱い方が今後大きな課題になってくる。利活用の仕方、程度、問題点を整理する必要があるのではないか。	B
横並びの空気が強い中、主体性を育むことは重要である。子どもたちが安心して「自分らしさ」を発揮し、笑顔の花が咲く学校をひるむことなく目指してもらいたい。	A
多様な子どもたちのフォローに大変ご苦労されている。学校ができることにも限界はあるが、学校だからこそできることを引き続き模索していただきたい。	A
この項目の自己評価にA評価がつけられるよう、自信を持って教育活動に取り組んでもらいたい。	B
「地域の子どもたちを育てる」という視点において、ユニットでの連携をさらに充実させる必要があるのではないか。	B